

高圧ケーブル被覆材の突起高さをロール・ツー・ロールで検査！！

# 樹脂テープ材表面検査装置

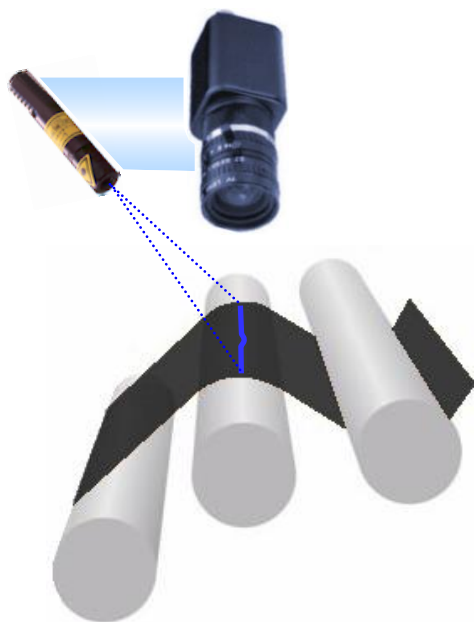
～ S P 3 D 応用事例～

ペレット状に製造される高圧ケーブル被覆原材料。そこにはダマや異物といった欠陥が内在します。これには、溶融押出機によりテープ状に成形されたサンプルの表面を検査する手法が用いられますが、高さが  $20\mu\text{m}$  にも満たないような欠陥サイズに対して、時に黒色のような色彩は困難を伴います。また素材の温度が高く柔らかいので、非接触での対応が必要になります。特殊レーザースリット光源と三次元カメラで構成される S P 3 D により、このような視認性の低いロール TO ロール形状対象について連続検査を実現、高さ情報にて欠陥を検出します！！

## 特徴

### ★三次元連続表面検査を実現！！

- ・ロール TO ロールの連続形状ワークに対応
- ・画素ピッチ  $10\mu\text{m}$  で  $10\text{mm}/\text{秒}$  の処理速度を実現
- ・サブピクセル処理により高さ方向分解能  $0.3\mu\text{m}$  で計測
- ・視認性の低い黒色樹脂素材においても、特殊レーザースリット光源にて可視化が可能



### ★搬送装置との連携にて NG 箇所を特定し、欠陥情報を記録！！

- ・インラインで搬送ローラ上での検査を実施
- ・エンコーダの位置情報を元に、検出した欠陥情報が保存可能

< 欠陥情報 >

- ★日時
- ★位置座標
- ★面積
- ★部分生画像
- ★部分強調画像